



SDGs(持続可能な開発目標)とは？

今年度ユネスコスクール認定に向けて城工ではSDGsに取り組んでいます。しかし、わからないことがだらけです。【持続可能な世界を実現するための17のゴール】について手がかりとなる本を図書部員の目を通して紹介していきます。紹介本は全て図書室にあります。

目標4:質の高い教育をみんなに



日本では、憲法で教育を受ける権利が保障されています。男女の区別なく中学校までは国民の義務として教育を受けることができます。学校に行くのは当然、義務教育でない高校へ進学することに対してもなんの疑いもなく受験しました。しかし、今回紹介した3冊の本では、女子であるが故に、男子と同じように教育を受けることが出来ない、小学校すら通えない。この21世紀のIT化やAI化が急速に進んでいる社会なのに、私が全く知らなかった世界が確実に存在すること、男女平等に教育を受けることが出来ない国があることにビックリしました。

『わたしはマララ』の主人公は、当時15歳のパキスタンの少女。「女性が教育を受ける権利」を訴え、2012年タリバンに銃撃され重傷を負いました。なんで、学校に行きたいと声をあげただけで、命を奪われる目にあわなくていけないのか？学校に行くのに怯えながら行かなければならないのか。女子が学校に行くのに周りからも歓迎されないなんて。日本で生まれ育った私には、とても理解できないことだらけです。2014年12月10日ノルウェーのオスロでのノーベル平和賞受賞式でのマララさんのスピーチは感動ものだったとか……。YouTubeに当時の映像がありますので検索して是非観てください。



当たり前前の日常の感謝

私たちは、ある年齢になると、ごくごく普通に学校にいき学んでいます。しかし、世界には単に女子であるとの理由で通学できず、更に経済的な理由で小学校すらも行けずに働いている子供たちがいることを知りました。『教育を受ける権利』『子供の人権が守られている社会』、平和で安全な日本—その日本に偶然に生まれた私たちは、すごく恵まれており、感謝しないとイケないと強く思いました。

文責:部長 E3-2 K.H